

JR福島駅東口 街なか交流館、いちい街なか店 営業終了

駅前再開発が本格化

飲食店など 移転に向け準備

福島市の辰巳屋ビル 建設予定地で営業して

に入っていた街なか交流館といちい街なか店は二十八日、営業を終了した。JR福島駅東口の駅前再開発ビルの事業が本格的にスタートする。

建設予定地で営業している飲食店など約六十事業所も四月中の移転などに向けて準備を進めている。駅前再開発の解体は早ければ六月に始まる見通し。ビルには商業施設やコンベ



早ければ6月中にも解体が始まる辰巳屋ビル

ンションホール、ホテルなどが入り、二〇二六（令和八）年に完成で、選定が進められて

入居するホテルや商業施設は未定

いる。

街なか交流館は二〇二〇年十二月の開館以来、延べ約十万人が来訪した。福島市出身の作曲家古関裕而さんと妻金子（きんこ）さんをモデルにしたNHK連続テレビ小説「エール」の常設展や特別展などが催され、人気を集めた。今後、規模を

縮小し、近隣の「Media City EST A（エスタビル）」地下一階に移転する。

いちい街なか店は開店以来、延べ約二十万人の買い物客が訪れた。物産展を十五回開催し、駅前のにぎわいづくり創出に貢献した。

再開発ビルが完成するまでの工事期間中、中心市街地の空洞化対策が課題となる。市は

JR福島駅前地下歩道

にストリートピアノを用いたイベントの開催り、駅前のにぎわい創出を目指す。